

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
123211086	リサーチリテラシー	山口佐和子			2	必修	1前期
科目の概要							
DP2に記載している、ライフスタイルのデザインを提案するために必要な衣・食・住および地域活性に関連する専門的知識・技能を身に付け、地域再生に貢献する人材育成を目指す。 そのために、この科目では、大学における学びの基礎となる「アカデミック・スキル」を高めることを念頭に、課題発見・情報収集・情報整理・読解・執筆・分析・プレゼンテーション等の方法について学修する。							
学修内容				到達目標			
① 課題を発見し、基本的な情報収集方法や情報整理術を身に付けることを目的とする。 ② 読解力や執筆能力を高める。 ③ 調査および分析方法や効果的なプレゼンテーション方法について知る。				① リサーチリテラシーに関わる専門用語を説明することができる。 ② リサーチリテラシーの基礎知識を活用し、自ら課題を発見し、適切な情報収集および調査分析を行うことができる。 ③ 正しく読解し、文字の誤りなく正しい日本語で書くことができる。 ④ 調査結果を活用し、周りの人にわかりやすく表現し、課題解決案を提案することができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	自発的・積極的に学修および調査研究を進めることができる。文献資料や情報を自分で探索・収集することができる。					
	働きかけ力	目標を達成するために、自分ひとりではできないとき人の力を借りるため声掛けができる。					
	実行力	課題について、困難があっても、工夫しながら目標に到達できる。					
考え抜く力	課題発見力	主観的な興味のレベルから客観的で学問として有効な課題へと発展させることができる。					
	計画力	課題に対しては、適切な役割分担と時間配分を行い期限内に完成できるよう進めることができる。個人で行う課題に対しては、計画通り進まない時、計画内容を修正し、期限内に完成できるように進めることができる。					
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないこと、いろいろな方向から考えることができる。					
チームで働く力	発信力	聞き手にわかりやすく工夫のある発信の仕方をすることができる。整理した内容を、的確な文章で表現できる。					
	傾聴力	人の意見を確認し、それをもととして自分の意見を述べるることができる。					
	柔軟性	自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。					
	状況把握力	自分に割り当てられたことだけでなく、集団の中で自分ができていることを考え、目標に向かって協力できる。					
	規律性	遅刻、居眠り、私語などの授業に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するために協力することができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：『大学生のためのリサーチリテラシー入門：研究のための8つの力』山田剛史、林創著、ミネルヴァ書房、2,400円＋税 オープンエデュケーション、津田塾大学ライティングセンター「レポートの書き方」 https://twc.tsuda.ac.jp/news/202007/20200708000000455.html							
他科目との関連、資格との関連							
この授業で学ぶ内容は、ライフスタイル学科での学びの軸となる科目であり、直接的にビジネス・地域活性関連科目、また、最終的には卒業研究へとつながっている。また、ライフスタイル学科で学ぶすべての科目と広く関連している。							
学修上の助言				受講生とのルール			
授業時間は集中し、板書以外に口頭で説明する内容もノートにとること。 レポートやプレゼンテーションはファイル形式で作成し、デジタル化する。				学則で定められたように、遅刻2回で欠席1回とみなす。 授業中の私語、居眠り、勝手な途中退出、授業に関係ない電子機器の使用を禁ずる。 授業の課題、予習、復習に取り組むこと。 授業で配布する資料の予備は保管しないので、他の受講者からコピーさせてもらうこと。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①						
				②						
				③						
				④						
	平常評価	小テスト		30	①	✓				授業のテーマに沿った小テストを3回行う。小テストの合計点を判定の基準とする。知識の獲得（学修した内容およびリサーチリテラシーに関わる専門用語を理解できているかが評価される）：30%
					②					
					③	✓				
					④					
		レポート		30	①					授業の課題に合ったレポート（1000字以上）を提出してもらう。知識の活用（リサーチリテラシーの基礎知識を活用し、自ら課題を発見し、適切な情報収集および調査分析を行ない、文字の誤りなく正しい日本語で論理的に書けているかが評価される）：20%、知識による解決（オリジナリティに富んだ課題解決案を提案できているかが評価される）：10%
					②	✓				
					③	✓				
					④	✓				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		30	①					理解度の確認のため、授業の課題に合ったグループ・プレゼンテーションをしてもらう。知識の活用（リサーチリテラシーの基礎知識を活用し、課題を発見し、情報収集および調査分析を行ない、効果的なパフォーマンスでプレゼンテーションできているかが評価される）：20%、知識による解決（オリジナリティに富んだ課題解決案を提案できているかが評価される）：10%
					②	✓				
					③	✓				
					④	✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）積極的に学修し文献や情報を探することができる。 （働きかけ力）ひとに声掛けができる。 （実行力）工夫しながら目標に到達できる。 （課題発見力）自ら課題を発見する。 （計画力）計画し期限内に完成できる。 （創造力）いろいろな方向から考える。 （発信力）聞き手や読み手に対しわかりやすく表現できる。 （傾聴力）複数の意見を聞くことができる。 （柔軟性）異なる意見を受け入れることができる。 （状況把握力）集団の中で自分ができていることを考えることができる。 （規律性）授業のルールを守ることができる。			
			②	✓						
			③	✓						
			④	✓						
総合評価割合			100							

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S（秀）の目安：授業内の課題に積極的に取り組み、授業から得た知識をじゅうぶんに獲得し、レポートおよびプレゼンテーションにおいて論理的かつ説得的であり、さらにオリジナリティに富んだものを提出・提供できている。</p> <p>A（優）の目安：授業内の課題に積極的に取り組み、授業から得た知識をじゅうぶんに獲得し、レポートおよびプレゼンテーションにおいて論理的かつ説得的なものを提出・提供できている。</p>	<p>B（良）の目安：授業内の課題に積極的に取り組み、授業から得た知識を獲得し、レポートおよびプレゼンテーションにおいて論理的なものを提出・提供できている。</p> <p>C（可）の目安：授業内の課題に積極的に取り組み、授業から得た知識を一定数獲得し、レポートおよびプレゼンテーションにおいて論理的なものを提出・提供できている。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	イントロダクション リサーチリテラシーとはどのような能力なのかを知る	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：シラバスを読む 復習：授業で提示した課題に取り組む	90	主体性 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
2	聞く力 話を聞くこと、ノートの取り方、コミュニケーションを学ぶ。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示したテキストの該当する部分を読む。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次の授業で質問できるようにする。	180	主体性 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
3	課題発見力 テーマを見つけるといふこととテーマの決め方について学ぶ。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示したテキストの該当する部分を読む。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次の授業で質問できるようにする。	180	主体性 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
4	情報収集力 情報収集の基本、インターネットを使った情報収集、文献検索と収集の方法、図書館の使い方について学ぶ。	講義 実地学修 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートをとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。教員の注意に従い、集団の輪を乱さず円滑な授業運営に協力できる。	予習：授業で提示したテキストの該当する部分を読む。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次の授業で質問できるようにする。	180	主体性 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
5	情報収集力と情報整理力および小テスト 調査の基本と、研究に関わる情報整理および自分に合う方法について学ぶ。知識獲得の確認のためにリサーチリテラシーに関連する専門用語の小テストを受ける。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。小テストを受ける。	予習：授業で提示したテキストの該当する部分を読む。テスト勉強をする。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次の授業で質問できるようにする。	180	主体性 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
6	読む力および小テストフィードバック 文章理解、クリティカルシンキング、文章要約について学ぶ。小テストのフィードバックを聞く。	講義 ディスカッション フィードバック	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示したテキストの該当する部分を読む。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次の授業で質問できるようにする。	180	主体性 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
7	書く力 学術的なレポートの書き方について学ぶ。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示したテキストの該当する部分を読む。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次の授業で質問できるようにする。	180	主体性 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
8	データ分析力および小テスト 量的調査分析と質的調査分析について学ぶ。知識獲得の確認のために、前回の小テスト以降に学んだリサーチリテラシーに関連する専門用語の小テストを受ける。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。小テストを受ける。	予習：授業で提示したテキストの該当する部分を読む。テスト勉強をする。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次の授業で質問できるようにする。	180	主体性 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	プレゼンテーション力および小テストのフィードバック プレゼンテーションを効果的に実行する方法について学ぶ。小テストのフィードバックを聞く。	講義 ディスカッション フィードバック	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示したテキストの該当する部分を読んでくる。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次の授業で質問できるようにする。	180	主体性 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
10	グループ・プレゼンテーション準備(1)および小テスト テーマ、グランドデザイン、役割分担等を決める。知識獲得の確認のために、前回の小テスト以降に学んだリサーチリテラシーに関連する専門用語の小テストを受ける。	グループ討議 講義	チームワークを重んじ、グループ討議に参加できる。小テストを受ける。	予習：グループ・プレゼンテーションのテーマやグランドデザインを考える。テスト勉強をする。 復習：グループ・プレゼンテーションの準備を進める。	225	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
11	グループ・プレゼンテーション準備(2)および小テストのフィードバック スライドの準備およびプレゼンテーションの練習をする。小テストのフィードバックを聞く。	グループ討議 講義 フィードバック	チームワークを重んじ、グループ討議に参加できる。	予習：グループ・プレゼンテーションの準備を進める。 復習：グループ・プレゼンテーションの準備を進める。	225	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
12	グループ・プレゼンテーション発表(1) グループでテーマに沿った適切で効果的なプレゼンテーションを行う。	プレゼンテーション フィードバック	チームの中で、自分の役割を全うできる。	予習：グループ・プレゼンテーションの準備を進める。 復習：グループ・プレゼンテーションの準備を進める。プレゼンテーションが終わった学生は良かった点と反省点をまとめる。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
13	グループ・プレゼンテーション発表(2)および提出するレポートの説明 グループでテーマに沿った適切で効果的なプレゼンテーションを行ない、後半は、提出するレポートの説明を聞く。	講義 プレゼンテーション フィードバック	チームの中で、自分の役割を全うできる。授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：グループ・プレゼンテーションの準備を進める。 復習：プレゼンテーションの良かった点と反省点をまとめる。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
14	文献調査 レポートに関わる文献を探す。文献を読んで、要約する。	講義 レポート作成	レポートに関わる文献を探す。	予習：レポート作成の準備を進める。 復習：レポート作成を進める。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
15	授業全体のまとめ 授業全体を振り返るとともに提出するレポートの説明をする。レポートの書き方については、オープンエデュケーションも活用する。 津田塾大学ライティングセンター「レポートの書き方」 https://twc.tsuda.ac.jp/news/202007/20200708000000455.html 授業の感想をgoogle formで提出する。	オンデマンド配信	授業の感想をgoogle formで送る。	予習：レポート作成を進める。 復習：レポート作成を進める。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力